

- 七、三八 谷口婦人部(日高)
- 七、二九 西富会婦人部(日高)
- 八、六 日高農民学校
- 八、七 全
- 八、九 全
- 一〇、九 豊志此(那賀)
- 一一、二 川辺(海草)
- 一一、七 大河内(海草)
- 一一、三 松島(海草)
- 一一、三〇 野口(日高)
- 一一、一 湯ヶ谷(海草)
- 一一、五 大河内(海草)
- 一一、二 松島(海草)

- 前井庄次
- 前井庄次
- 杉山元治郎
- 後藤貞次
- 前川正一
- 大谷田村
- 後藤 勉
- 大谷田村
- 後藤 勉
- 後藤 勉
- 後藤 勉
- 後藤 勉
- 田村正成
- 後藤 勉

総計 座談会 三十四 講習会 四回

青年部報告

農民斗争の前衛として「来は青年の...」と合言葉をして、青年部は我が郷土に組織されて一年有半に成るが、尚、同親組合は素晴らしい発展を見せるにも拘わらず、その発展は意外にも後れ勝るも遺憾とするものがある。組織も僅し日高、那賀二地区のみにして一市五郡に根を張る親組合より劣る事も認めざるを得ない。事実闘争も見ざるべきもなく、親組合の行く処に只これ従う程度として(単議部政老部報告参照)

青年部独自の方針の確立も出来ず、青年部としての報告は以上の如き貧弱である。批判 藤野青年部は青年に對して、教育的働きかけも何等しようとはせず、全国的情勢を知りしのみ、二の事は青年部をしてセクト的孤立化せしめ、其の斗争たる青年訓在郷軍人及戦に對する斗争、小作争議の積極的應援も何等の展開も見る事は出来なかつた事は遺憾である。

青年部は此の誤謬を速かに精算せねばならぬ。精算せぬが、青年に課せられた使命、大衆斗争の前衛たり得ないであらう。

日高地区青年部地区委員長 浅井七真吉
 那賀地区青年部地区委員長 田村正治